

農作業・ハイキングではマダニに注意！

近年マダニに咬まれることで発症するウイルス感染症(重症熱性血小板症候群:SFTS)の被害を耳にします。

マダニは野生動物が出没する環境のほか、民家の裏山や裏庭・畑・あぜ道にも生息しています。

およそ5~15%がウイルスを保有しているといわれています。



*重症熱性血小板症候群(SFTS)って何？

・**潜伏期間:**マダニに咬まれてから6~14日

・**症状:**発熱・倦怠感・食欲低下・消化器症状・リンパ節の腫れ・出血症状・血液検査の異常

*予防法は？

・野外では肌の露出を少なくしましょう。

首:タオルを巻くか、ハイネックを着用しましょう。

シャツの袖口:軍手や手袋の中に入れてみましょう。

シャツの裾:ズボンの中に入れてみましょう。

ズボンの裾:靴下や長靴の中に入れてみましょう。

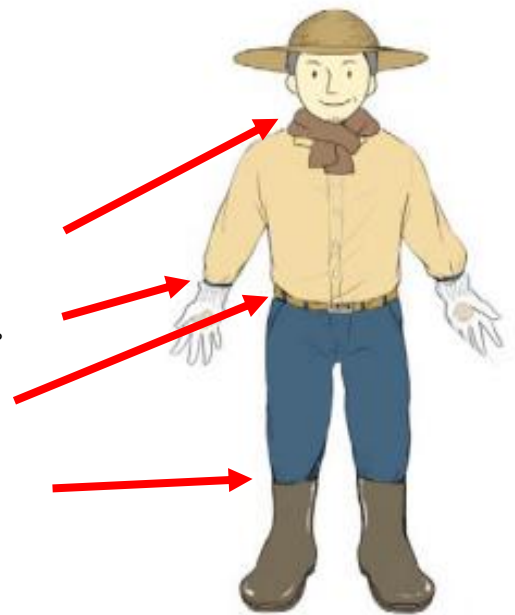
・上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。

・屋外活動後は、入浴時にダニがついていないかチェックしましょう。

・虫よけスプレーを活用しましょう。

残念ながら、日本ではマダニ用は発売されていません。

ツツガムシ用の物で、マダニの付着数がある程度減らせます。



咬まれてしまったのを見つけたら？

ガムテープを使って取り除きましょう。

数週間程度は体調の変化に注意して、発熱等の症状が見られたら病院を受診しましょう。

